

「持続可能な観光」の未来を描く ニセコ高校生からの提言



1. ニセコ高校で第1回ワークショップを開催しました！

ニセコ町では、「持続可能な観光」をテーマに、「ニセコ町観光振興ビジョン」の策定を進めています。「持続可能な観光」という新しい概念を町内の皆さん（観光事業者の方、町民の方など）に知っていただくとともに、ご意見等をいただく機会として、ワークショップや町民講座、フォーラム等の場を設ける予定です。

この度、その一環として、ニセコ高校の観光リゾートコースの2年生から4年生にご協力いただき、「第1回ワークショップ」を開催いたしました。「なぜニセコ町は『持続可能な観光』に取り組むのか？」をテーマに、社会経済、文化、環境への効果、という3つの視点でディスカッションを行いました。なお、今回のワークショップでは、高校におけるデジタル（ICT）教育の取組として、パソコンとワークショップアプリを活用して意見の抽出やとりまとめの作業を行いました。

ワークショップ当日は、冒頭に持続可能な観光の取組事例のレクチャーを行った後、2つのグループに分かれて、高校生同士のグループワークに入りました。難しいテーマではありましたが、世界中の事例を調べ、話し合っていく中で徐々に盛り上がり、たくさんの意見が出てきました。



《ワークショップ開催概要》

- ◎日 時： 2021年9月14日（火）10時50分～12時35分（3・4校時）
- ◎場 所： 北海道ニセコ高等学校 観光実習室
- ◎参加者： ニセコ高校生 観光リゾートコース10名（4年生2名、3年生6名、2年生2名）
- ◎テーマ： 「なぜニセコ町は『持続可能な観光』に取り組むのか？」
- ◎ファシリテーター： 小樽商科大グローバル戦略推進センター 提携コンサルタント 大湊亮輔

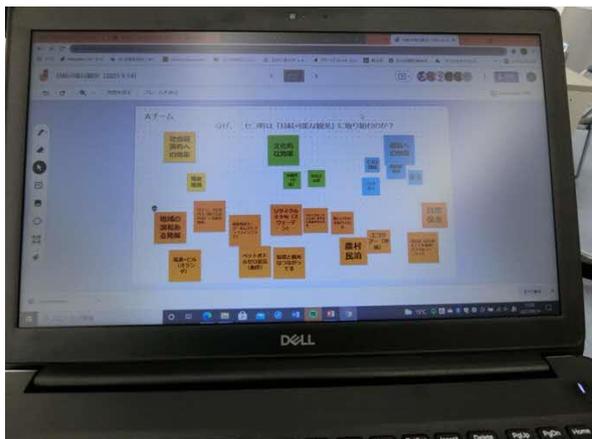
2. ワークショップ当日の様子

①事前レクチャー (10:50-11:05)



観光クイズから始まり日本をはじめ世界各地で実践されている取組や「正解がない」問いをディスカッションする上での注意点などレクチャーを受けました。

②グループワーク (11:05-12:15)



2つのグループに分かれて事前に調べてきたことを中心にディスカッション。議論のまとめは、各自のパソコン上でワークショップアプリを活用して行いました。

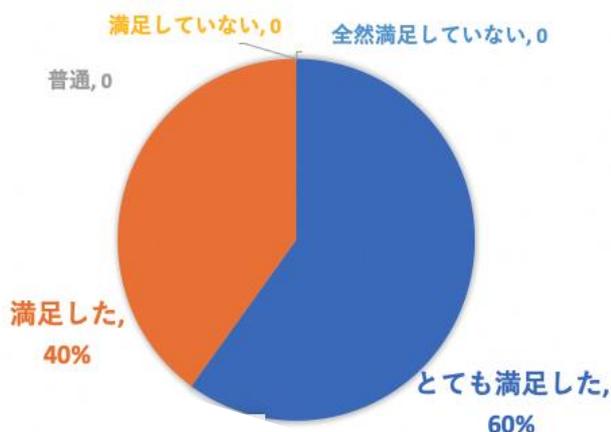
③グループ発表 (12:15-12:30)



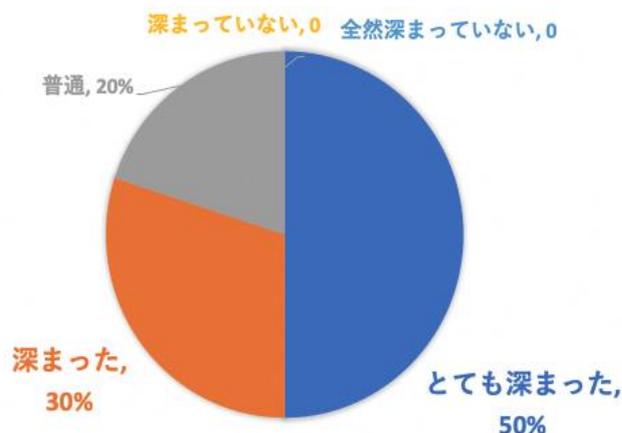
それぞれのグループで話し合ってまとめた内容を発表してもらいました。同じテーマの議論でも違う事例が出されるなど相互に気づきが多かったようです。

4. ワークショップ参加者アンケート結果（一部抜粋）

Q チームでのディスカッションの感想を教えてください



Q「持続可能な観光」の理解や考えは深まりましたか？



Q ワークショップで、気づいたことや学びになったこと、感想があれば教えてください

- ✓ 世界では様々なサステイナブルな取り組みがされていた。ニセコに取り入れられることもあると感じた。
- ✓ ニセコ町の観光事業について深く掘り下げて調べることができたので良かった。
- ✓ サステイナブルに取り組んでいるかどうかを観光地の決め手になるようになれば良いと思う。
- ✓ これからのことを考えて新しいことを取り入れることも大切だと思いました。
- ✓ 環境への意識が観光の付加価値を高めているということに気付いた。

5. 編集後記

今回は日本各地や海外など先進事例を調べながらニセコ町での効果を考えるという「拡散」のディスカッションでした。第2回は色々な考えをまとめる「集約」の段階に入っていきます。

そしてまとめた内容を観光審議会に提案し、最終的な「ニセコ観光振興ビジョン」に盛り込んでいきたいと考えています。第2回ワークショップの様様については、また改めてニュースレターにてお知らせいたします。（文責：小樽商科大学 後藤、大湊）

《次回のワークショップ開催概要》 ※予定

◎日 時： 2021年10月13日（水）10時50分～12時35分（3・4校時）

◎参加者： ニセコ高校生 観光リゾートコース11名（4年生2名、3年生7名、2年生2名）

◎テーマ： 「10年後、ニセコ町をどんな観光地にしたいか？」